



職場体験

8月26日から30日まで、一関中学校の2年生3名が岩手河川国道事務所 一関出張所の職場体験に訪れました。これは、中学生の社会体験学習の一環で、「社会性の育成」と「望ましい勤労観・職業観の育成」の二つをねらいとし、中学生の社会体験学習事業実行委員会などからの呼びかけにより実施されています。

5日間の職場体験では、一関遊水地の役割や洪水と治水について学んだり、工事現場に行きウェアラブルカメラによる交信や自動追尾光波による測量体験、遠隔操縦式除草機械による操縦体験をしました。

実務体験の様子

一関遊水地舞川水門新設工事
(株) 鴻池組



施工管理について学びました。



鉄筋組立体験をしました。

一関遊水地第3遊水地管理用通路工事
(株) 佐々木組



工事内容について説明を受けました。



測量体験をしました。

北上川上流一関地区河川維持工事
宇部建設(株)



遠隔式除草機械の操縦体験をしました。



遠隔ボックホウの操縦体験をしました。

現地調査の様子

一関遊水地



一関遊水地展望台を見学しました。

岩手・宮城内陸地震遺構公園



地震被災地を見学しました。

河川調査船 ゆはず



北上川の河川調査をしました。

編集後記

職場体験に来た中学生を見て、私にもそんな時代があったんだよなあ〜…と懐かしくなりました。今回の経験も含め、将来のイメージをどんどん広げて欲しいなと思います♪(や)